

交流 Luncheon

12:30 ~ 13:30



実践報告会の登壇者やTJFスタッフと、気軽に交流できます。

「どうやって活動を始めたの？」

「現場ではどんな工夫をしている？」

「自分の地域でもやってみたい」

そんな疑問やアイデアを、ランチを囲みながら自由に話してみませんか。

会場では、各地の活動紹介や資料展示も予定しています。分野や地域を越えて、ゆるやかにつながり、新しい出会いや協働のきっかけが生まれる交流の場です。



© 藤田 朋伽

T-ART 勉強会

13:30 ~ 16:30

「とうきょうPCAMP2026」体験ワークショップ

「とうきょうPCAMP2026」(2026年3月26日～29日)では、初めて美術ワークショップを導入し、演劇・ダンス・美術を融合したパフォーマンス創作に挑戦しました。

勉強会では、「とうきょうPCAMP2026」で中高生に伴走した美術家、演劇人、ダンサーによるファシリテーションのもと、「どのような意図で場づくりを行ったか」「どのようにセーフプレイスを形成したか」「多文化的な配慮をどのように行ったか」などを共有しながら進

行します。参加者は、テーマに沿った美術制作を体験するとともに、その美術を活用したパフォーマンスの創作・発表までを一連の流れとして体験します。創作と対話を通じて、多様な表現や協働のあり方を互いに共有する場となることを目指しています。

Facilitator /

水内 貴英 / 柏木 俊彦 / 田畑 真希



© 北郷 仁

お問合せ

公益財団法人国際文化フォーラム

長江 (ながえ) / 堀江 (ほりえ) / 伊丹 (いたみ)

電話 : 03-5981-5226 E-Mail : pcamp@tjf.or.jp



thejapanforum_tjf



PCAMP



@256ijfb

T-ART 事業
関連情報発信中 /

「多文化 × 芸術」事業 (T-ART 事業) とは、TJF が 2017 年度より取り組んできた「芸術の力を活かした多文化共生・多様性包摂の社会づくり事業」の総称です。



つながる・学び合う・共創する「多文化 × 芸術」ネットワーク

T-ART FORUM 2026



詳細は
こちら!!

実施目的

①

芸術の力を活かした多文化共生・多様性包摂の社会づくり (T-ART 活動) を発掘・集約・共有・発信する。

②

T-ART 活動の実践者間ネットワークを形成し、学び合いと連携を促進する。

③

T-ART 活動のリソース (人材・知見・情報の蓄積) と社会的ニーズ間の相互アクセスを促進する。

日 時

10/12 10:00 ~ 16:30
2026 月・祝 (9:30 受付開始)

会 場

東京国際交流館 メディアホール

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1 国際研究交流大学村内 プラザ平成
《アクセス》 ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」東口より徒歩約 3 分
りんかい線「東京テレポート」B 出口より徒歩約 15 分

対 象

芸術の力を活かした多文化共生・多様性包摂の社会づくりにご関心のある方

プログラム

① T-ART 実践報告会

10:00 ~ 12:30

【第 1 部】 T-ART ワークショップ (報告 1 ~ 3)
【第 2 部】 とうきょう PCAMP2026

② T-ART 交流 Luncheon

12:30 ~ 13:30

軽食・お菓子を準備予定

③ T-ART 勉強会「とうきょうPCAMP2026」体験ワークショップ

13:30 ~ 16:30

定員 : T-ART 実践報告会の参加者の中から 20 名募集 (先着順)
(定員超過の場合は先着 20 名まで見学可能)

参加費

① にご参加の方 無料
② にご参加の方 500 円
③ にご参加の方 2,000 円

※①にお申込みの方に限り、②③にもお申込みいただけます。②のみ、③のみの参加は不可。
※参加費は会場受付にて現金払いをお願いします。

申込締切

9 月 23 日 (水)

主 催

公益財団法人国際文化フォーラム (TJF)

参加申込は
こちらから!!



T-ART 実践報告会

出会って 知り合って 関わり合って

10:00～12:30

第1部

報告 1

T-ART ワークショップ in 呉

呉市国際交流協会「外国にルーツをもつ児童・生徒のための冬休み宿題
応援プロジェクト」と連携して
(2025年冬と2026年夏実施)

Presenter

たけしたあさこ

竹下 麻子

呉市国際交流協会 交流推進員



多文化共生マネージャー・
災害時外国人支援情報コーディネーター

外国人住民支援、国際交流事業、多文化共生の推進を担当。2016年より、外国につながりをもつ子どもたちへの学習支援や居場所づくり、やさしい日本語や多言語による情報発信、外国都市との交流に関わるコーディネートなど、幅広い業務に携わる。また、日本語教室での防災講座や生活支援セミナーの開催、異分野の団体とのコラボイベントの企画運営など、現場に根ざした多文化支援を多角的に展開している。ひろしまPCAMP2023の共催団体担当者として運営に関わる。

さかたこうへい

坂田 光平



舞台俳優・舞台美術

舞台芸術制作室無色透明所属。介護福祉士。2016年より舞台芸術制作室無色透明とNPO法人ひゅーるぼんとの協働事業の中で生まれた障がいのある人もない人も参加できる演劇団体「おきらく劇場ピロシマ」の旗揚げメンバー。舞台芸術を通じて子どもたち、障がいのある人たちが、地域の人たちが、相互につながりながら共にいきいきと暮らしていける街をめざし、演劇活動が続けている。広島在住。ひろしまPCAMP(2022～2024年開催)はファシリテーターとして関わる。



開催レポートは
こちら！

報告 2

T-ART ワークショップ in 福山

リーディング・ファクトリーと連携した福山市民対象の
多文化交流の場づくり
(2026年3月初実施)

舞台俳優

2005年テラ・アーツ・ファクトリー加入。以降同団体公演、外部では韓国現代戯曲ドラマリーディングvol.3「人類最初のキス」に出演。2009年退団後も企画作品や他団体公演に参加。2023年に地元・福山市へUターンし、「紛争地域から生まれた演劇シリーズ」15年記念・地域連携プロジェクトに関わる。現在はリーディング・ファクトリーを立ち上げ、演劇ワークショップや地域イベントでのパフォーマンスを通し、表現を楽しむ場づくりと地域文化の活性化に取り組んでいる。

えじまけいしゅん

江島 慶俊



舞台俳優・フロントエンドエンジニア

佐賀県出身、広島県在住。四国学院大学社会学部卒業後、舞台芸術制作室無色透明に所属し、企画制作・俳優・劇作・ファシリテーターとして活動。主な活動として、おきらく劇場ピロシマ演劇クラブ講師、広島アクターズラボ演技育成科アシスタント、ひろしまPCAMP(2022～2024年開催)ファシリテーターなど。中学校の舞台発表会への戯曲執筆や、演劇大会審査員などの外部活動も行う。2026年より、舞台芸術とWebサイト制作の二軸でフリーランスとしての活動を開始。



開催レポートは
こちら！

作実践など、全国各地で行われている T-ART の取り組みや経験を持ち寄り、共有します。異なる背景を持つ人たちが、安心してそこにいて(being)、ともに表現し(creating)、関わり合える(connecting)場とはどのようなものなのか。

実践者同士が、それぞれの悩みや工夫、喜びを分かち合いながら、参加者のみなさんとの対話を通してつながり合うフォーラムを目指します。



© 藤田 朋伽

報告 3

「パフォーマンス表現」の開講

専門学校アジア・アフリカ語学院と連携した留学生対象の日本語教育カリキュラムとして
(2026年1月～3月、全9回)

Presenter

ふじもりまいこ

藤森 麻衣子

専門学校アジア・アフリカ語学院
日本語学科副主任



登録日本語教員

東京都出身。大学で国文学、大学院で日本語教育を専攻し、多文化コーディネーションプログラムも修了。2014年より同校で非常勤講師として勤務、2018年より専任講師、公益財団法人アジア・アフリカ文化財団職員。留学生への日本語教育を中心に、子ども日本語教室やオンラインでの在日外国人向け日本語セミナーなどにも携わる。現在は授業運営、カリキュラム作成、進路指導、講師支援を行い、留学生一人ひとりの学びと将来につながる日本語教育を目指している。

かしわぎとしひこ

柏木 俊彦



演出家・舞台俳優

木野花ドラマスタジオ出身。2010年に第0楽章(劇団)を設立、代表と演出を担う。プロデュース公演などにも演出、俳優、ドラマターグなど様々なカタチで参加。地域プロジェクトや海外プロジェクトの企画運営、教育機関や福祉施設でのワークショップ活動など多岐にわたり活動。近年は、さまざまなバックグラウンドをもつ人たちとワークショップや創作活動も行っている。NPO法人SEED OF ARTS 代表理事。2021年よりPCAMPメイン・ファシリテーター。



開催レポートはこちら！

第2部

Presenter

みずうちたかひで

水内 貴英



美術家

武蔵野美術大学中退。関わる場所や状況に呼応する様々な作品を国内外で発表している。また、ワークショップによって起こる出来事や空間もまた作品であるという考えのもと、大規模なワークショップを数多く手がける。主な展覧会に、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(新潟県、2003年・2009年・2012年)、台三線芸術祭(台湾、2019年)など。芸術祭や学校などでワークショップも多数実施。2020年～2021年PCAMP(オンライン版)、2026年とうきょうPCAMP(対面)ファシリテーター。

たばたまき

田畑 真希



振付家・ダンサー

タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。更なる表現を迫及するため桐朋学園短期大学演劇科に入学。様々なジャンルの身体表現を学ぶ。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧な時間を紡ぐ作風に定評があり、国内外で活動。近年は、インクルーシブダンスのワークショップや作品創作をはじめ、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの差異を超えて、誰もが楽しみながらできる身体表現の促進を目指し活動中。2019年よりPCAMPメイン・ファシリテーター。



開催レポートは
こちら！